



<2>



<3>



<1>

【右ページ写真】パステルイエローの明るい壁紙と、白木系のキッチンカウンターで構成されたダイニングキッチン空間。オレンジ色の椅子張りや、壁のひまわりの絵がアクセントとなっています。**【写真1】**椅子の張り地や、曲線の壁に用いた「赤」や「朱色」の色彩は活力を高め、食欲を増進させる働きがあります。さらに植物や絵、天井のペンダントライトなどを工夫して空間に動きを出すと、気が活性化してより良い空間となるでしょう。**【写真2】**大きな曲線の壁に囲まれたダイニング空間は、包み込まれるような安心感を与えてくれます。さらに、温もりを感じさせる色彩によってくつろぎの効果がアップされます。**【写真3】**シンプルなアイボリーカラーの壁で構成されたダイニング空間は、すっきりとした印象と爽やかさを感じさせてくれます。シンメトリー（左右対称）に配置された絵や、椅子の張り地の柄がアクセントとなっています。シンプルな空間は、家具の木目やカーテンのファブリック（生地）など、素材感を活かしたい場合に有効なデザインです。**【写真4】**元々白い壁だったマンションをリフォームしたダイニングキッチン。少し濃い色彩の家具を配置したい場合には、それに応じて周囲の壁や天井の色も変えることでまとまりが生まれ、バランスのとれた空間となります。



<4>

Feng-Shui Gallery

special edition vol.56

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

『ダイニング空間のアクセントカラー』



**ダイニング空間は^{だんらん}団樂の空間。
円卓や明るい色彩を選ぶことで
より適した空間に近づくことが可能です**

ダイニング空間は、活力を高める色彩である「オレンジ色」「朱色」などをアクセントに用いると良いでしょう。
ベースとなる壁や天井の色彩は、イエローやベージュ系統を用いることで
温かみを感じる空間にすることができます。